

令和8年6月18日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

国立大学法人山梨大学次期学長候補者の決定について

国立大学法人山梨大学学長選考・監察会議は、6月18日、次期学長候補者の選考を行った結果、下記のとおり中村和彦現学長の再任を可とし、次期学長候補者とすることを決定したので公表します。

記

1. 学長候補者氏名：中村 和彦 （なかむら かずひこ）
2. 任期：令和9年4月1日～令和11年3月31日（2年）
3. 選考理由・選考過程・選考基準：別紙資料をご参照ください。

〈次期学長候補者コメント〉

「これまでの取り組みと今後のビジョンが評価され、大変光栄に思っている。
山梨大学の発展、さらには地域の発展のため、全力で取り組んでまいりたい。」

〈本件問い合わせ先〉

山梨大学総務企画部総務課

TEL：055-220-8003

〈広報に関する問い合わせ先〉

山梨大学総務企画部総務課広報・渉外室

TEL：055-220-8005, 8006

E-mail：koho@yamanashi.ac.jp

国立大学法人山梨大学次期学長候補者の決定について

令和8年6月18日
国立大学法人山梨大学
学長選考・監察会議

国立大学法人山梨大学学長選考・監察会議（以下、学長選考・監察会議）において、「国立大学法人山梨大学学長の選考及び解任等に関する規則」に基づき次期学長候補者の選考を行った結果、下記のとおり中村和彦現学長の再任を可とし、次期学長候補者とすることを決定したので公表します。

記

1. 氏名

中村 和彦（なかむら かずひこ）

2. 任期

令和9年4月1日～令和11年3月31日（2年）

3. 選考理由

令和8年6月18日開催の学長選考・監察会議において、「国立大学法人山梨大学学長の選考に関する細則」第8条第1項及び第2項の規定に基づき、所信表明書及び面談に基づく在任期間中の業績評価を行った。

中村和彦氏は、本会議が策定した「国立大学法人山梨大学学長選考基準」に定める5項目のいずれに関しても高い意欲、資質・能力を有するほか、令和5年4月1日に学長に就任以来、4つのビジョン（①教育改革の推進、②研究支援体制の強化、③地域連携等の強化、④経営基盤の強化・改革の推進等）の実現に向け、構成員と十分な協力関係を構築しながら着実に成果を上げており、引き続き同氏がリーダーシップを発揮して取り組みを推進することにより、本学の更なる発展が期待できると判断された。

以上のことから、学長選考・監察会議は、現学長の中村和彦氏の再任が適当と判断し、次期学長候補者として決定した。

4. 選考過程

○令和8年4月25日（第12回学長選考・監察会議）

・現学長の中村和彦氏の任期（1期4年）が年度末に満了となることに伴い、「国

立大学法人山梨大学学長の選考に関する細則」第8条第1項に基づき、同氏に対して再任の意思を確認することとした。

○令和8年6月5日

- ・同氏より、所信表明書の提出により再任の意思が示された。

○令和8年6月18日（第13回学長選考・監察会議）

- ・所信表明書及び面談に基づく審査を実施の上、同氏の再任を可とし、次期学長候補者とすることを決定した。

以上

○ 国立大学法人山梨大学学長選考基準

令和4年6月23日
学長選考・監察会議

国立大学法人山梨大学学長は、人格が高潔で、学識が優れ、かつ、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者で、以下の5項目に関する意欲、資質・能力を有する者とする。

1. 国立大学法人山梨大学における教育研究・経営の最高責任者として大学を運営する優れたリーダーシップを発揮すること
2. 本学の個性と特色を発揮するための明確なビジョンをもち、その実現により本学の存在感を高めること
3. グローバル化社会で活躍できる有為な人材を育成するとともに、世界に発信できる高度な研究を推進すること
4. 教育研究を通じて、さまざまなニーズに応えつつ社会貢献を推進すること
5. 構成員の意欲と創意を引き出し、本学の人的資源を最大限に生かすこと

略 歴



中村 和彦（なかむら かずひこ）（66歳）

<プロフィール>

山梨県甲府市生まれ。山梨県立甲府第一高等学校、山梨大学教育学部卒業。筑波大学大学院体育研究科修了。山梨大学教育学部教授、教育学部長、大学院教育学研究科長、理事・副学長を経て、2023年から山梨大学学長、大学アライアンスやまなし代表理事。

専門研究分野は、教育学・発育発達学。

文部科学省中央教育審議会大学分科会委員・同教育課程部会専門部会委員・同教員養成部会大学院における社会人等の教員免許取得に関する新課程WG委員

文部科学省地域大学振興に関する有識者会議委員

文部科学省2040年を見据えて社会とともに歩む私立大学の在り方検討会議委員

国立大学協会会長補佐（地方創生担当）・同将来像実現のための国立大学システム検討ワーキンググループ委員・同「地方創生タスクフォース」リーダー

日本教育大学協会理事・評議員・関東地区会長

スポーツ庁スポーツ審議会健康スポーツ部会委員

日本スポーツ協会ジュニアスポーツ指導員部会長

日本オリンピック委員会ゴールドプラン専門委員

日本レクリエーション協会理事

日本トップリーグ連携機構常務理事

山梨経済同友会代表幹事などを歴任。

NHK教育テレビ「おかあさんといっしょ」体操コーナー『ブンバ・ポーン』、NHK2020応援ソング『パブリカ』、NHKSDGsプロジェクト『ツバメ』、YBS山梨放送コロナに負けるなソング『ゴリラパンダ』などを監修。著書に「子どもの遊び・運動・スポーツ」（市村出版）、「子どもが夢中になる！楽しい運動遊び」（学研教育みらい）、「四快のすすめ」（新曜社）など。